

昇級者選考経緯

コスモス短歌会

選者十三人で討議

あらかじめ各選者が資料に目を通し、一月十一日(土)、日本教育会館で選者会議を開催し、昇級者の選考をおこなった。

当日の出席者は、小島ゆかり編集人をはじめ計十三人の選者が集まった。影山一男、桑原正紀、狩野一男、木畑紀子、田宮朋子、風間博夫、田中愛子、水上比呂美、原賀環子、松尾祥子、小島なお、小田部雅子と資料の面で赤崎美香子の助力を得て、各欄の昇級者を決定した。決定の方法は例年と変わらず、この二年間の掲載歌数に拠った。

①「その一集」から「月集シリウス」への昇級……十一人。

②「あすなる集」から「その一集」への昇級……十九人。
③「その二集」から「あすなる集」への昇級……二十六人。

昇級の基準

昇級の基準は毎年同じではなく、その年の選者会議や編集会で決める。今年の基準は次の通りである。【①は、この二年間に八回以上特選に選ばれた人、②は、この二年間の歌が九十八首以上掲載された人、③は、この二年間に歌が八十九首以上掲載された人】これに該当する人をそれぞれ昇級者として選出した。「この二年間」とは二〇二三年一月号〜二〇二四年十二月号を指す。

「月集シリウス」へ推薦します

高橋 妙子(北海道) 阿部 澄江(宮城)
前中 映(東京) 内藤 文子(福井)
山本 寛嗣(山口) 戸田 道子(福岡)

伊藤 祐楓(茨城) 前田 明(神奈川)
秦 順之(大阪) 柳井 政則(兵庫)
永田 恵美(福岡)

「その一集」へ推薦します

岩淵 初代(岩手) 水野 須美子(宮城)
福島 健太郎(神奈川) 奥 浩昭(東京)
阿部 直子(新潟) 佐藤 彩湖(新潟)

吉弘 藤枝(埼玉) 人見 江一(神奈川)
奥 呂美生(東京) 藤田 邦彦(東京)
小森 鈴子(岐阜) 小野 久美子(兵庫)

藤本 満里子(兵庫) 友田 昌子(奈良) 桜庭 さわね(鳥取) 畑 都(鳥取)
 石本 洋子(佐賀) 鶴田 竹一(長崎) 田島 寿恵延(大分)

「あすなる集」へ推薦します

浜野 昌子(北海道) 高橋 寿一(岩手) 荒堀 真理子(千葉) 谷 真樹(神奈川)
 柚木 ひかり(神奈川) 伊藤 弘通(東京) 上野 成(新潟) 保田 仁美(富山)
 権田 陽子(静岡) 森崎 洋子(静岡) 小田 沙也加(愛知) 古田 輝美(愛知)
 深沢 泰二(三重) 中村 泰子(京都) 八木 美和子(大阪) 木村 つや子(奈良)
 新 敦子(鳥取) 浦木 妙子(鳥取) 舛岡 慶子(広島) 末田 陸子(山口)
 岡崎 清和(香川) 池川 紀江(愛媛) 増田 柳子(福岡) 間 由美子(長崎)
 原 万紀(長崎) 前田 泰隆(長崎)

詠草提出についての注意

- 一、昇級者は必ず、新所属欄に○印をつけて下さい。
 - 二、締切日の二十三日は必ずお守り下さい。
 - 三、本誌とじ込みの詠草用紙にお書き下さい。所属欄、氏名、都道府県名、入会年月などを記入して下さい。(新入会員は「その二集」に○印をつけて下さい)。パソコン印字原稿の場合も同じ必要事項をお書き下さい。
 - 四、郵送の場合は詠草だけを送って下さい。また、速達での投稿はご遠慮下さい。
 - 五、住所変更、電話番号変更等については、詠草とは別便でお知らせ下さい。
 - 六、詠草の送り先は、「コスモス短歌会」です。
 - 七、詠草の文字はわかりやすく書いて下さい。極端なくずし字や癖のある字は間違いのものになりません。原則として鉛筆書きは避けて下さい。読みにくい固有名詞などには読みがなを付けて下さい。
 - 八、詠草のかなづかいは、旧かなづかいでも新かなづかいでもかまいませんが、詠草全体を同じかなづかいで書いて下さい。詠草用紙の「旧かな」「新かな」のどちらかを必ず○で囲んで下さい。
- * 毎月の「選者小言」の次の頁に、詠草の書き方、提出方法について詳しく掲載されています。ご参照下さい。(事務局)